

各 位

上場会社名 株式会社 デジタルデザイン
 代表者名 代表取締役社長 寺井 和彦
 (ヘラクレス市場 銘柄コード:4764)
 問い合わせ先 経営管理グループ長 佐藤 真由美
 TEL:06-6363-2322(代)

平成 23 年 1 月期第 2 四半期連結累計業績と前年同期実績との差異に関するお知らせ

平成23年1月期第2四半期連結累計期間(平成22年2月1日～平成22年7月31日)の当社連結業績につきまして、前年同期(平成21年2月1日から平成21年7月31日)に実績値に対して、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成23年1月期第2四半期連結累計期間の連結業績と前年同期の実績値との差異

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
平成22年1月期第2四半期(前年同期)(A)	148	△64	△62	△63	△2,356.19
平成23年1月期第2四半期(B)	82	△96	△97	△114	△4,260.44
増減額(B-A)	△65	△31	△34	△51	—
増減率	△44.1%	—	—	—	—

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高、株安、デフレによる、産業の空洞化が懸念されるなど、国内への積極的な設備投資に踏み切るには至っていない状況にあり、IT投資におきましても引き続き抑制傾向が続き、クラウドコンピューティング等への大きな構造変化が起こっております。

このような状況のもと、当社グループは、BT(ビジネステクノロジー)事業におきまして、グローバル化に対応するモデリング技術の普及と活用を推進すべく、ソフトウェアの標準化団体であるOMGの定義した国際標準であるモデリング技術及び自社ネットワーク製品を軸にしたシステムインテグレーションサービス、認定資格試験、関連する教育コース、モデリング技術を活用したコンサルティングの販売をおこなってまいりました。

リアルエステート事業におきましては、大型不動産の仲介に的を絞ってまいりました。

黒字体質に転換するためには、売上粗利の確保力(営業力)向上が必須であり、当社の強みをもつビジネスモデルを深考するとともに集中すべき営業案件を選択し、体制を一層首都圏へシフトいたしました。

また、定常コストを削減するために大阪事務所の縮小、BPMコンサルティング領域の人員削減、販売用不動産物件を取得し、賃借料を留保するため東京事務所を移転するなどを実施してまいりました。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間におきましては、BT(ビジネステクノロジー)事業における、BPMコンサルティングの立ち上がりが難航したこと、リアルエステート事業において、個人向け中古住宅の販売を控えたこと及び大型仲介案件の成約が遅延したことにより、売上高 82,811 千円(前年同期比 44.1%減)、営業損失 96,702 千円(前年同期は営業損失 64,988 千円)、経常損失 97,544 千円(前年同期は経常損失 62,612 千円)、四半期純損失 114,648 千円(前年同期は四半期純損失 63,405 千円)となりました。

以上